

平成30年度 荒尾市予算案の概要



目次

1. 基本方針や予算規模	・・・1～2P
2. 一般会計予算の推移	・・・ 3P
3. 一般会計歳入予算	・・・ 4P
4. 一般会計歳出予算(目的・性質)	・・・ 5～8P
5. 財政状況(基金、地方債残高)	・・・9～10P
6-1. みんなで育む『人づくり』	・・・11～14P
6-2. みんなで築く『安心づくり』	・・・15～16P
6-3. みんなで挑戦『夢づくり』	・・・17～18P
6-4. みんなで創る『街づくり』	・・・ 19P

重点戦略 『あらお未来プロジェクト』
～明るく豊かな未来へ向けた「子どもと楽しむまち」をつくるために～

新たなまちづくりを目指すため、『あらお未来プロジェクト』に沿った施策を、限られた予算の中で、積極的に推進していきます。

当初予算

当初予算規模はどれくらいなの？

一般会計当初予算 213億700万円

平成30年度会計別予算規模

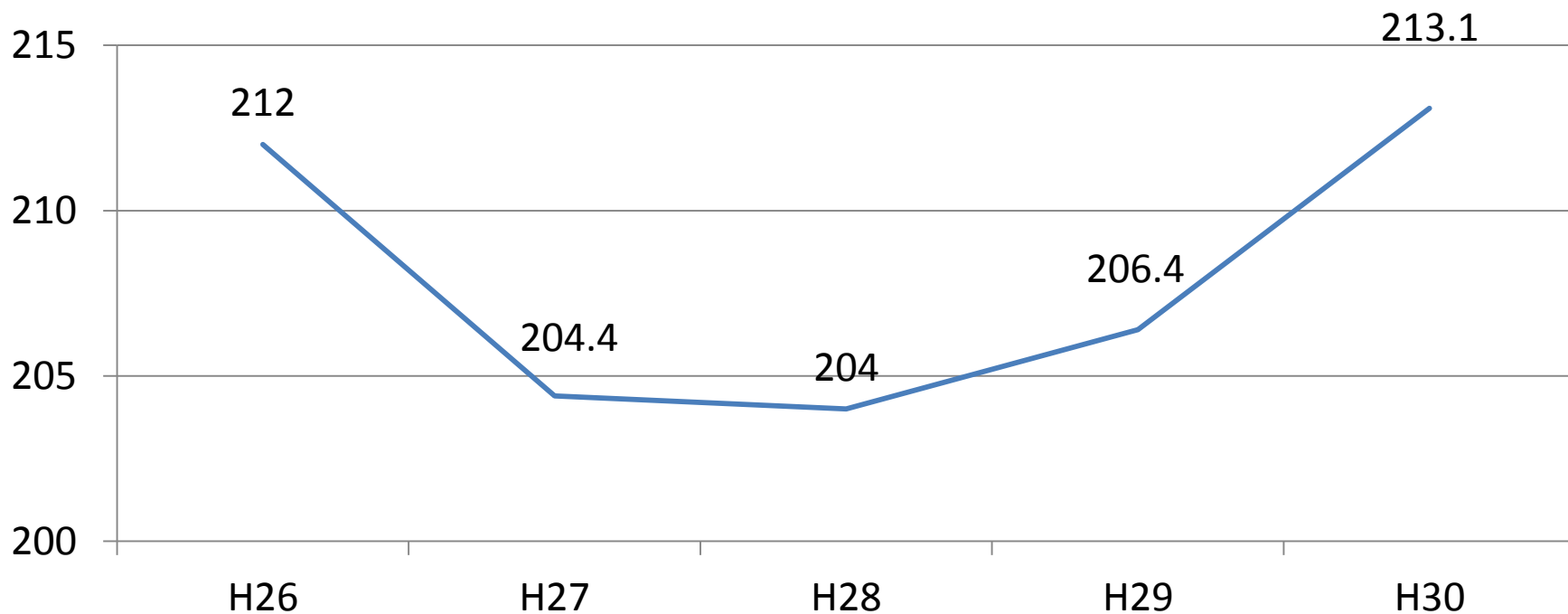
会計名		平成30年度	平成29年度	当初予算の比較	
一般会計		213億 700万円	206億4,100万円	+6億6,600万円(+3.2%)	
特別会計	国民健康保険特別会計	76億 174万円	87億 565万円	△11億391万円 (△12.7%)	
	後期高齢者医療特別会計	7億7,410万円	7億5,590万円	+1,820万円(+2.4%)	
	介護保険特別会計	56億9,681万円	61億1,230万円	△4億1,549万円 (△6.8%)	
	南新地土地区画整理事業特別会計	11億1,069万円	5億3,666万円	+5億7,403万円(+107%)	
企業会計	水道事業	収益的支出	10億4,888万円	10億2,571万円	+2,317万円(+2.3%)
		資本的支出	6億4,608万円	5億 543万円	+1億4,065万円(+27.8%)
	下水道事業	収益的支出	12億8,233万円	12億5,831万円	+2,402万円(+1.9%)
		資本的支出	11億 888万円	10億9,473万円	+1,415万円(+1.3%)
	病院事業	収益的支出	64億9,610万円	63億 498万円	+1億9,112万円(+3.0%)
		資本的支出	13億4,213万円	8億5,833万円	+4億8,380万円(+56.4%)

当初予算

荒尾市の予算推移を見てみよう

一般会計当初予算の推移

(億円)



※ H27、H29は骨格予算

歳入予算

どのような収入があるの？

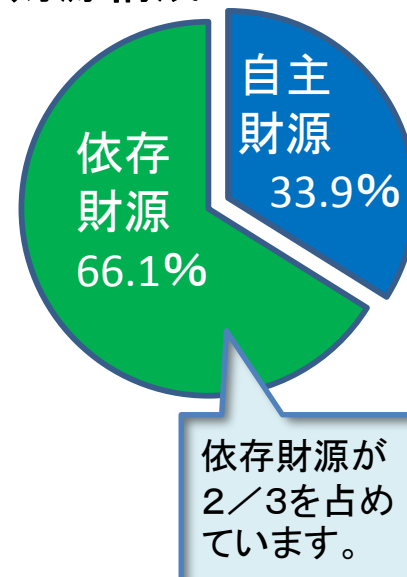
一般会計歳入予算

歳入は、市税や地方交付税など、その性質により区分することとなっています。また、市税、施設使用料などの「自主財源」と、国や県によって額が決められ、交付されたりする「依存財源」の2つに区分されます。

区 分	説明	当初予算額	前年度比
自主財源		72億2,053万円	+10.2%
市 税	市民税や固定資産税等	50億9,624万円	+3.2%
分担金及び負担金	保育料等	2億8,251万円	+2.7%
使用料及び手数料	施設の使用料や 各証明書の交付手数料	5億8,149万円	△1.6%
繰 入 金	基金などからの繰入金	8億6,307万円	+154.1%
そ の 他	寄附金や受託事業収入	3億9,722万円	△2.7%
依存財源		140億8,647万円	△0.1%
地方交付税等	地方交付税や地方譲与税など、国が集めた税金などが一定割合で配分されるもの	59億4,700万円	△1.6%
国県支出金	特定の事業に対する国県からの補助金など	60億5,937万円	+1.6%
市 債	大きな事業を行うために国や銀行から借り入れるお金	11億8,010万円	△0.1%
地方消費税交付金	地方消費税を財源として交付されるお金	9億円	増減なし



財源構成



歳出予算

どのような支出があるの？

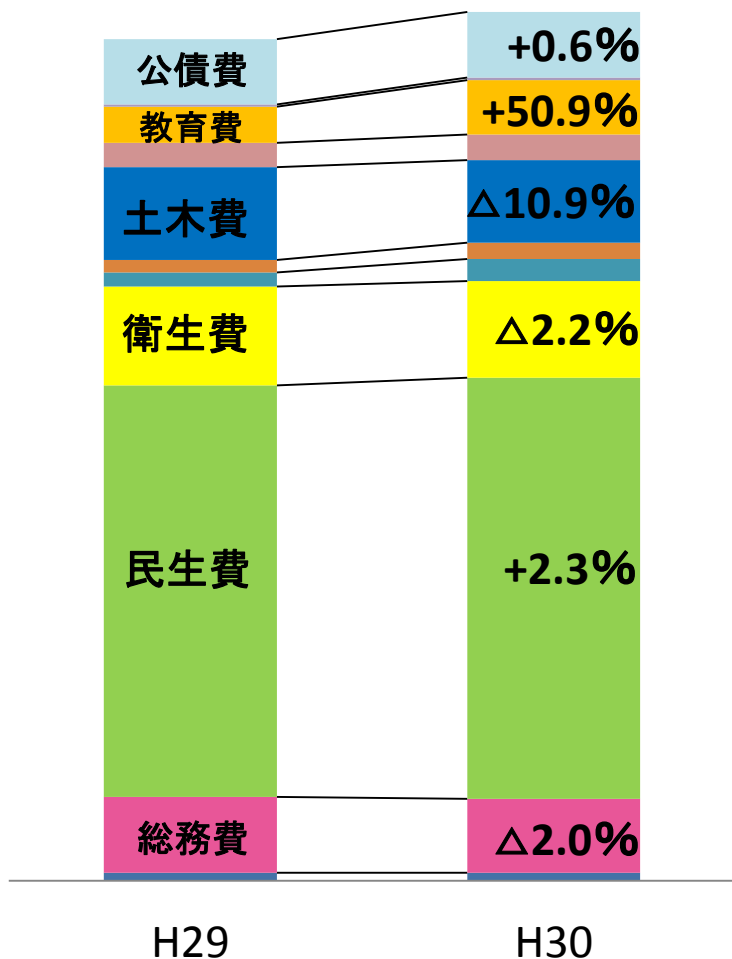
一般会計歳出予算【目的別】

歳出は、民生費、土木費、教育費など、その目的により区分することとなっています。

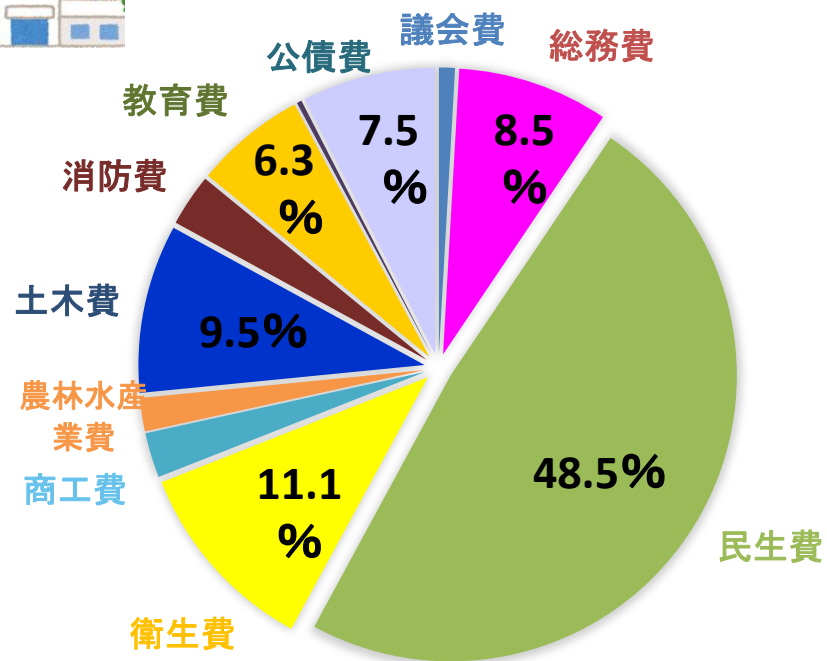
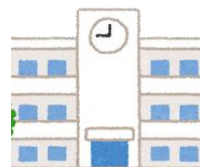
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
議 会 費	議員の報酬や議会事務、運営経費	1億9,237万円	△1.7%
総 務 費	市全般的な管理事務などにかかる経費	18億1,825万円	△2.0%
民 生 費	社会生活を保障するための経費	103億2,967万円	+2.3%
衛 生 費	市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費	23億6,671万円	△2.2%
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費	5億4,038万円	+54.2%
商 工 費	商工業の振興や観光事業にかかる経費	4億 53万円	+34.2%
土 木 費	道路・公園・港湾・市営住宅などの維持、建設経費	20億2,865万円	△10.9%
消 防 費	消防・水防・災害対策や救急活動にかかる経費	6億2,851万円	+4.8%
教 育 費	学校教育や生涯学習などの教育分野にかかる経費	13億3,623万円	+50.9%
公 債 費	市の借金を返済するための経費	16億 682万円	+0.6%
そ の 他	労働環境の維持改善や災害復旧にかかる経費	5,888万円	+0.8%
合 計		213億 700万円	+3.2%

一般会計歳出予算【目的別】

歳出予算の推移



構成比



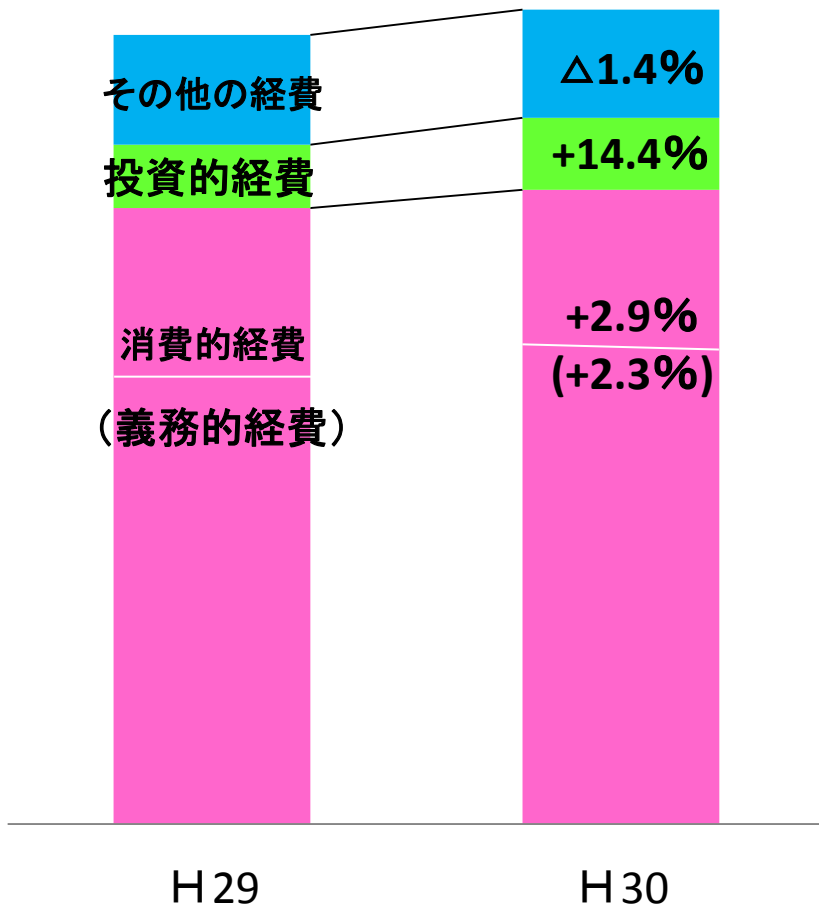
一般会計歳出予算【性質別】

歳出をその性質により分類すると、支出の効果がきわめて短期間で終わるものを「消費的経費」、道路・橋りょう、公園、学校などの建設や大規模改修など、社会資本の整備に要する経費である「投資的経費」、「その他の経費」に大別されます。

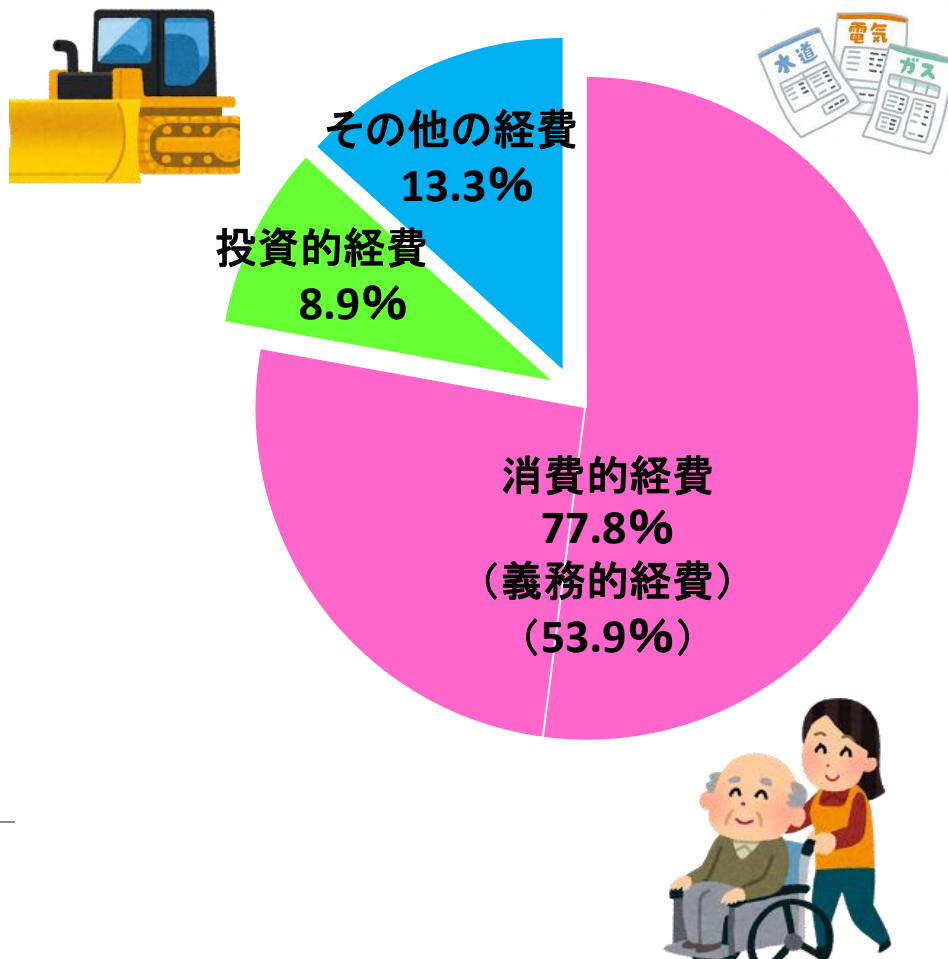
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
消費的経費		165億8,830万円	+2.9%
義務的経費	支出することが義務付けられている経費	114億9,016万円	+2.3%
人件費	職員の給与や手当など	28億4,579万円	+4.2%
扶助費	生活保護、高齢者・障がい者支援などの福祉、医療にかかる経費	70億3,755万円	+2.0%
公債費	市の借金返済にかかる経費	16億 682万円	+0.6%
物件費	光熱水費、消耗品費、委託料など	22億4,335万円	+8.9%
維持補修費	施設などの維持補修にかかる経費	2億 895万円	+10.9%
補助費等	市民団体等への補助や関係団体への負担金	26億4,584万円	+0.1%
投資的経費		18億9,101万円	+14.4%
普通建設事業費	公共施設やインフラ施設の整備にかかる経費	18億8,581万円	+14.4%
災害復旧事業費	自然災害により被災した公共土木施設等を復旧する費用	520万円	+3.8%
その他の経費		28億2,769万円	△1.4%
積立金、出資金、貸付金	市が金融機関に一時的に行う貸付金など	7,500万円	増減なし
繰出金	特別会計や企業会計の必要経費を補てんするためなどの目的のために支出する経費	27億5,269万円	△1.4%
合 計		213億 700万円	+3.2%

一般会計歳出予算【性質別】

歳出予算の推移



構成比

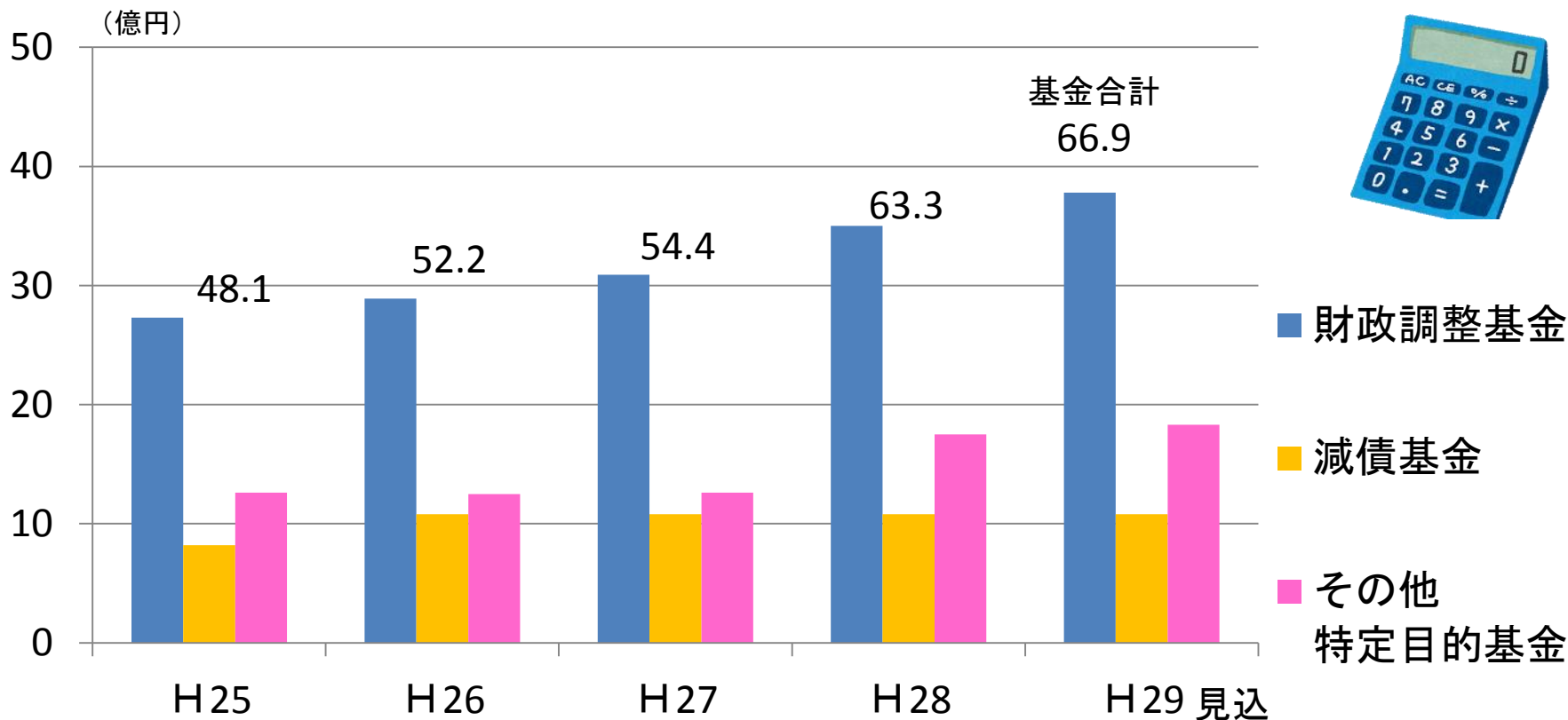


財政状況

貯金や借金はいくらあるの？

基金残高(市の貯金)

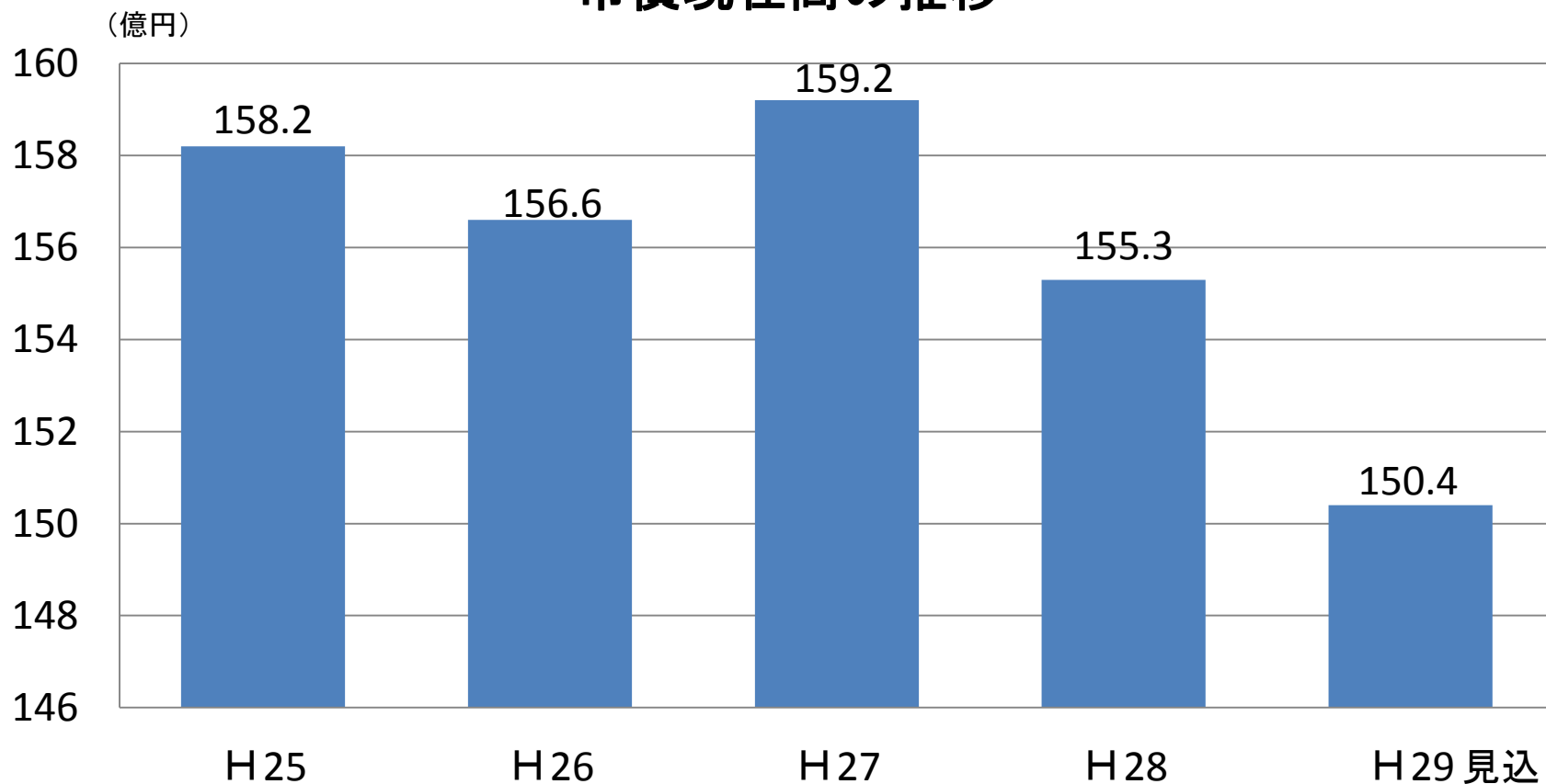
積立基金とは、本市の貯金のことです。災害復旧など臨時の支出や、経済状況の変動で収入(歳入)が足りないときや、ある特定の目的で事業を実施するときに取り崩します。



市債現在高(市の借金)

市債とは、本市の借金のことです。公共施設などを整備するための財源です。単年度に大きな負担をしないですみますが、後年度に地方債の元利償還金という形で将来の市民の負担になるので、借入れには十分気を付けなければいけません。

市債現在高の推移



『あらお未来プロジェクト』

～明るく豊かな未来へ向けた「子どもと楽しむまち」をつくるために～

みんなで育む『人づくり』

拡充

放課後児童健全育成事業費
(1か所拡大分) 5,479千円

子育て支援課

放課後、児童が生活する場を提供している放課後児童クラブにおいて、万田小、一小校区を対象とするものを更に1か所追加します。

新規

放課後児童クラブ支援事業費
14,368千円

子育て支援課

放課後児童クラブにおける障がい児受入を推進するため、障がい児(1人以上)の受入に必要となる専門的知識等を有する職員配置のための補助を行います。

新規

小規模保育所整備事業費
343千円

子育て支援課

地域型保育事業のうち小規模保育所(民設公募)を1か所整備し、0～2歳児の確保方を強化します。平成31年度中の民設小規模保育所開設を目指し、公募を行い、有識者による選定委員会で最適者を選定します。



みんなで育む『人づくり』

新規

保育対策総合支援事業費

29, 530千円

子育て支援課

保育所等における保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な費用を補助します。



新規

待機児童解消対策事業費

2, 925千円

子育て支援課

本市に居住し、市内の保育所等に新たに勤める保育士に対して家賃の一部助成を行います。保育士の処遇を改善することで、待機児童の解消に必要な保育士を確保します。



拡充

子ども医療費助成現物給付化経費

224千円

子育て支援課

子ども医療費に係る現物給付を平成30年10月診療分から大牟田市内の医療機関受診分まで拡充し(社会保険の通院分)、子育て世代の経済的負担の軽減と利便性の向上を図ります。

みんなで育む『人づくり』

拡
充

語学指導外国青年招致事業費(臨時分)

7,977千円

教育振興課

平成32年度からの小学校学習指導要領改定に伴い、既存の3人については中学校専属に、追加する2人については小学校専属配置とし、計5人体制とすることにより小中学校における外国語教育の更なる充実を図ります。



新規

授業改善アドバイザー活用事業費

900千円

教育振興課

授業改善アドバイザーを招き、教師を対象に直接的な指導、アドバイスを受け、更なる授業改革、業務改善を図り「学校力」の強化に取り組めます。

新規

小学校施設改修費 82,576千円

教育振興課

児童の安全で快適な教育環境の向上を図るため、万田小学校体育館屋根改修工事、桜山小学校運動場排水改修工事、有明小学校放送設備改修工事を行います。



新規

小学校教室用エアコン整備事業費 34,373千円

教育振興課

児童の安全で快適な教育環境の向上を図るため、小学校10校の教室にエアコンを設置するための設計を行います。平成31年度から設置を行う予定です。

みんなで育む『人づくり』

新規

中学校施設改修費 54,783千円

教育振興課

生徒の安全で快適な教育環境の向上を図るため、海陽中学校プール改修工事、市内の全中学校3校においてLED設置工事を行います。

拡充

英語検定チャレンジ事業費
3,587千円

教育振興課

平成27年度から中学1年生において全生徒の英語検定料5級相当を負担する事業を実施しています。更なる英語力の向上を図るため、従来の1年生だけに加え、2年生においては4級、3年生においては3級の取得を目指します。



子ども未来基金
活用事業！！

新規

くまもと子ども芸術祭事業費 4,194千円

生涯学習課

「熊本芸術文化祭」の一環として、次世代の地域文化の担い手である子どもたちを主体とした「くまもと子ども芸術祭」を本市で開催します。伝統芸能や合唱等が披露されるステージのほか、書道や絵画の展示、工芸等の体験などを実施します。

継続

学校給食費無償化事業費 115,909千円

給食センター

小学校の給食費を補助(無償化)します。将来を担う子どもたちの成長を市民全体で支えることで、安心して子育てができる街を目指します。また、子育て世代の経済的負担を軽減し、移住・定住の促進にもつなげます。



みんなで築く『安心づくり』

新規

地域の拠点づくり事業費 10,774千円

くらしいきいき課

地域活動の拠点となる施設を旧三小運動場に設置します。事務所や会議室として利用できる設備を整備し、万田中央地区協議会を中心とした活動を支援します。

継続

介護予防拠点事業費 37,500千円

高齢者支援課

市内の各地区公民館では、体力アップ体操やサロンをはじめとした介護予防活動が実施されています。手すりの設置やトイレの洋式化、段差等を解消するための改修を行う地区公民館5箇所を支援し、介護予防拠点として整備することで、市民における健康維持及び介護予防の促進を図ります。



新規

複合検診事業費(ピロリ菌検査)
2,240千円

健康生活課

ピロリ菌感染は、胃がんの危険因子とされ、国内の研究ではピロリ菌陽性者は、陰性者に比べてその後に発生する胃がんのリスクが5倍以上であることが示されています。複合検診の胃がん検診受診者のうち希望者に対して、初回のみ自己負担なしでピロリ菌検査を実施します。陽性者は、除菌することにより、胃がんの発症を抑えることができます。



みんなで築く『安心づくり』

継続

在宅医療・介護連携推進事業費

4,819千円

高齢者支援課

市内の医療・介護・福祉の各団体による多職種連携により、住み慣れた地域で医療・介護サービスを一体的に提供できる仕組みづくりを目指します。市と荒尾市医師会の共同運営による在宅医療連携室「在宅ネットあらお」の運営等により、かかりつけ医の紹介等の相談対応、市民フォーラム等在宅医療の普及啓発、専門職向け研修会の実施、医療機関・介護事業所の情報収集等の各種取組を行います。

継続

認知症初期集中支援推進事業費

7,630千円

高齢者支援課

市内医療機関等への委託により「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症の人やその家族に対して訪問等による適切な支援を行っていきます。早期発見、早期対応による医療・介護サービスやインフォーマルでの生活支援につなげることで、切れ目ない対応や連携を図ります。



継続

認知症地域支援・ケア向上推進費

1,878千円

高齢者支援課

関係機関のネットワーク強化のための訪問活動、認知症の相談対応を行う「認知症地域支援推進員」を地域包括支援センターに配置し、認知症の方の集いの場としての「認知症カフェ」の運営推進や認知症徘徊者に対して、地域住民や介護サービス事業者、警察、行政等によるネットワークを形成するための「SOS徘徊模擬訓練」等を実施します。



みんなで挑戦『夢づくり』

新規

奨学金返済わか者就労支援事業費 2,524千円

産業振興課

奨学金を活用して大学等を卒業後、市内に居住し、かつ、市内の事業所等に就職した‘わか者’の奨学金返済に係る費用の一部を補助(年間20万円を上限に最大3年間)することで、若年層の市外流出を抑制するとともに、市外からの流入を促し、地元雇用の促進により活力ある荒尾を目指します。

新規

観光拠点整備推進事業費 33,330千円

産業振興課

平成27年度から平成29年度まで市で設置していた「まるごとあらお荒尾市物産館」に代わる、観光協会が設置する飲食、展望スペースを併せ持つ、新たな物産販売施設整備への補助を行います。市の物産振興を図るとともに、万田坑来場者の満足度向上が期待できます。



新規

新規工業団地整備可能性適地調査事業費 7,982千円

産業振興課

企業誘致の受皿となる工場適地の区画に空きがなく、企業の立地に対応できない状況であるため、市内全体を対象に企業を誘致できる工業団地造成の可能性について調査委託します。企業立地の受皿をつくり、今後の企業誘致の促進を図ります。



みんなで挑戦『夢づくり』

継続

万田坑活用事業費 24,642千円

産業振興課

平成29年度に策定した「万田坑及び専用鉄道敷跡整備基本計画」に則り、適切な保存活用のための整備基本設計を行います。また、同時に、鉄道敷の橋梁点検や仮設階段の設置、除草ならびに竹林の伐採により一層の魅力の向上を図ります。

新規

企業立地意向調査事業費 1,362千円

産業振興課

南新地地区のまちづくりを行うに当たり、民間施設を誘導するため、その前段である全国の企業への意向アンケート調査を実施します。



継続

外磯水島線交差点改良事業費 44,000千円

土木課

荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)建設に伴い、大型自動車が行き来できるよう、入口となる外磯水島線交差点の改良工事を行います。

新規

街路計画事業費(南荒尾駅前広場駐輪場整備)
3,000千円

都市計画課

平成31年度に荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)が設置されることに伴い、駅利用者の増加も見込まれることから、駅前広場の駐輪場整備とロータリー改修を行い、駅利用者の利便性向上を図ります。

みんなで創る『街づくり』

継続

南新地土地区画整理事業特別会計
1, 110, 685千円

都市計画課

有明海沿岸道路のIC設置が予定されている競馬場跡地とその周辺で、土地区画整理事業による土地の整理と公共施設の整備を行い、本市の再生拠点としての基盤整備を図ります。平成30年度は、雨水の流末となる水路や調整池等の工事や建築物の移転補償等を行い、早期の宅地整備と都市機能誘導を目指します。



新規

花のみちプロジェクト事業費 2, 231千円
増永緑ヶ丘線植樹帯整備工事費 9, 800千円

くらしいきいき課

土木課

本市の主要幹線道路の一つである増永緑ヶ丘線の、本村交差点からシティモール公園までの道路沿線(約2.2km)の植樹帯(約1.2km)に、団体、学校、地域住民の参加を得て官民が協働で花のみちを創り上げます。

